



▶わいわい倶楽部の親子研修で境港魚市場を見学

11月11日大分県別府市で行われた表彰式において、全国地域活動連絡協議会表彰の団体の部で中山わいわい倶楽部（地域組織）が、また、個人の部では下田中児童館・児童厚生員の清見順子さんと、元・同児童館厚生

員の原田むつ子さんが受賞されました。
この表彰は「まちの子は、みんなわが子」を合言葉とし、地域で子どもたちの健全育成を願う27年間にわたる中山わいわい倶楽部の自主的な組織活動や、清見さん・原田さんの会員としての永年の活動に対して評価されたものです。

中山わいわい倶楽部からは「今、こうして活動が継続しているのは、保護者や地域の方々への支えやつながり、これまでの努力があつてこそだと実感しています。自分の子だけでなく、地域の子どもたちの健全育成を

目指して、地域の方々の力を借りながら、これからも活動をしていきたいと思えます。」

清見さん、原田さんは「組織の発足時から活動に携わり、当時小学生だった子どもたちが今では子を持つ親に、当時子育てに追われていた親の世代に今では孫がいたりして、年を刻んできたことを感じます。今の子どもたちが親となり、私たちがつないできた活動がさらに続いていけるよう、これからも地域の一人として頑張っていきたいと思えます。」と受賞の感想を述べられました。



▲表彰状を手に

和やかに 大阪で交流会

だいせんファンクラブ

11月14日（日）だいせんファンクラブ会員の交流会を、大阪城を間近に見ることが出来るKRホテル大阪で行いました。会員・来賓合わせて42名の参加がありました。このたびは、大山町からサポーターとして、同窓会の幹事3名にも同行してもらい、関西圏に住んでいらっしゃる同級生とのミニ同窓会として親睦を深めていただくとともに、ファンクラブ会員の拡大を行いました。久しぶりの再会



▲盛り上がるのは、やっぱり故郷の話題

で、近況や故郷の話題に花が咲いていました。

交流会では、大山町の特産品である大山ピーナッツ・王秋梨、地酒を持って行き、参加された皆さんに味わっていただきました。特に大山ピーナッツは好評で、お土産に持って帰られたほど。また、王秋梨の実物を初めて見られた会員さんもあり、ジュシーな味に驚いておられました。町長のカラオケに合わせて、飛び入り創作踊りも始まり、和やかな雰囲気の中、

会員同士の交流はさらに深まったようでした。

*だいせんファンクラブでは、会員を募集しています。県外にお住まいのご兄弟、ご親戚の方をご紹介ください。入会いただきますと、会員日より・広報・議会だより・旬の情報などを毎月送付します。また、年一回（東京と大阪で隔年）交流会を行っております。

詳しくは企画情報課へお尋ねください。